

令和 5 年度 事業 報告 書
2023 年 7 月 1 日から 2024 年 6 月 30 日まで

法人の名称 特定非営利活動法人サードプレイス

1 事業の成果

居場所では 1 年間の活動の中で、100 人くらいの子どもたちに出会います。「居場所に来る子どもたちにはこんな共通点がある」というものはありません。少し話をすると、「うーん、ちょっと心配だな。家ではちゃんと親御さんはこの子のことを見ているのか」とすぐに心配リストに入るわかりやすい子もいますし、性格も穏やかで受け答えもしっかりしている、いわゆる「普通の子」もいます。今年度は、この「普通の子」からの学びがとても大きい 1 年でした。

大きく力を入れて取り組む必要があるなど感じたのは、「ひとり親支援」です。鶴見区内にお住まいのひとり親世帯への食料品配達を続けていく中で、様々な相談を寄せられているようになりました。このアプローチをもっと拡充させていく必要性を感じています。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 子どもの発達における総合支援事業

ア 子どもたちの居場所づくり実践

子どもたちの居場所づくりの取り組みを実施。

- ・公共施設での子どもたちの居場所づくり：地区センカフェ

「行けば誰かいる」という子どもたちにとっての待ち合わせ場所であり、頼れる大人に出会える場づくりの実施。

日 時：毎週火曜日 15:00~17:00 オープンスペース
火曜不定期 18:00~19:00 学習支援

場 所：横浜市寺尾地区センター

開催回数：オープンスペース 46 回

学習支援 5 回

参加者数：オープンスペース 延べ 706 人（内こども 632 人・大人 74 人）

学習支援 延べ 8 人・学習支援ボランティア延べ 4 人

※鶴見区青少年の居場所づくり活動補助金を受け実施

- ・公立中学校内での放課後学習支援

中学校の校舎内（図書室等）での放課後学習会の実施。生徒一人ひとりに寄り添った個別対応により、学習の困り事のみならず生活面での相談にも対応。寺尾中学校「てらお地域学校協働本部」の学びづくり部 放課後学び場事業として実施。

日 時：木曜日（月 2 回）主に 16:00~17:30

場 所：横浜市立寺尾中学校

開催回数：16 回

参加者数：生徒 延べ 49 人・学習支援ボランティア/スタッフ 延べ 62 人

- ・高校生のための居場所「つみれ自習室」

放課後の高校生の居場所として実施。勉強の目的だけでなく、大学生スタッフに進路相談や大学生活を聞いたり、就活や推し活などの話をしたりと参加者それぞれが目的をもって



参加している。身近にロールモデルがいることで、進学や将来のイメージに役立っている。

日 時：木曜日 16:00~19:00

場 所：地域活動交流拠点 230cafe（つみれカフェ）

開催回数：47回

参加者数：中高生 延べ591人 スタッフ：272名

※令和6年4月から令和6年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業の助成を受け実施

イ 児童家庭支援センターつるみらいの運営

児童家庭支援センターは、児童福祉法に基づき設置された児童福祉施設。地域の子育て家庭の皆さんからの相談に対して、専門的な支援や援助をおこなう。横浜市鶴見区にお住いの方が利用。スタッフは、社会福祉士、心理士、保育士など雇用し運営。

相談対応件数：延べ 4,065件（前年度実績 4,274件）

子育て短期支援事業（一時預かり支援）件数：269件 延べ 308日

（昨年実績：299件 延べ 354日）

ウ 鶴見区寄り添い型生活支援事業つるみ元気塾の運営

学校の放課後に通所する場を開設し、生活習慣等を身に付ける機会を提供するとともに、必要に応じて保護者への支援をおこない、利用する子どもたちが自立した生活や未来を描けるよう、「体験」や「学び」に力を入れ事業を実施。

※寄り添い型生活支援事業 車両送迎に係る実施要領に基づき、子どもたちの利用にあたり車両での送迎を実施。

登録人数：9名

開所日数：240日

利用人数：延べ 246名

エ 講演・啓発事業

・寄付の教室

日 時：令和5年11月1日（水）13:30~15:10

場 所：神奈川県立二俣川看護福祉高等学校

参加者：62名

・登壇実績

法政大学大学院ゲストスピーカー

日 時：令和5年10月17日（火）6限・7限

場 所：法政大学大学院

オ 子どもの体感・体験・学習イベント

・つるみ子育て個育ちフォーラムへの参加

子どもたちが健やかに、心豊かに育つ地域づくりを進めていくことを目的に、鶴見区内で子育て支援や青少年育成に携わる団体や区民有志が一堂に会すイベント「つるみ子育て個育ちフォーラム」の運営委員、企画委員として協力。

② 地域資源の調査・研究・開発事業

ア 地域活動交流拠点 230cafe（つみれカフェ）の運営

拠点運営やカフェ営業などを「つみれプロジェクト実行委員会」の協力により実施。
経営状況の悪化により、カフェ営業の中止を決定。

イ 事業の運営申請準備

・横浜市内や鶴見区内の委託事業の受託に向けての調査

こども家庭庁で予算化されている子どもたちの居場所づくりやこどもの貧困対策、ひとり親家庭等支援関係、家庭支援事業関係についての勉強会を実施。

ウ 鶴見区にお住いのひとり親世帯支援

・鶴見区にお住いのひとり親世帯向け食料品配達

寄付で得られる食料品や購入して集めた食料品の配達を継続して実施。配達の際に、食料品以外の困り事の聞き取り、アセスメント。継続相談が必要な家庭を児童家庭支援センターにつなぎ、定期面談をおこないながらフォローを続けている。

実施回数：12回

配達世帯：延べ104世帯 子どもの人数：183人 延べ利用人数：287人

※令和5年9月までの分は、〈はまぎん〉ミライを創るアクションプログラムの支援を受けて実施。

※令和6年4月から令和6年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業の助成を受け実施

・ひとり親世帯の子どもたちの居場所

ひとり親世帯の不登校傾向のため子どもたちの居場所づくりを検討。ひとり親世帯向け食料品配達の利用者からのヒアリングや鶴見区内のひとり親世帯からのニーズ調査を実施。プレの居場所を実施。

プレ開催：3回

参加者数：4人

※令和6年4月から令和6年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業の助成を受け実施

エ 介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）

地域のご高齢者の外出の機会づくり、孤立防止のための居場所づくりを目的に介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業サービスB通所型）を実施。横浜市通所型支援：リハビリ体操、ピラティス、映像を見ながら懐古談など

日 時：木曜日 10:00～13:30

場 所：地域活動交流拠点 230cafe（つみれカフェ）

開催回数：44回

参加者数：244人（内要支援者数：30人）

オ 取り組みの応援者を増やすための情報発信

・ Web、SNS の活用

ホームページ：<https://www.n-thirdplace.com/>

Facebook：<https://www.facebook.com/thirdplacetsurumi>

Instagram：<https://www.instagram.com/thirdplacetsurumi>

・ タウンニュースへの掲載依頼

サードプレイス事務局実施の取り組みや運営施設での取り組みなどを積極的に情報提供し、自分たちの取り組みを知っていただく機会を増やした。

・ メディアへの取材対応

Web メディアや地元企業の機関紙などの取材を積極的に受け、さまざまな方の目に触れる機会を増やした。